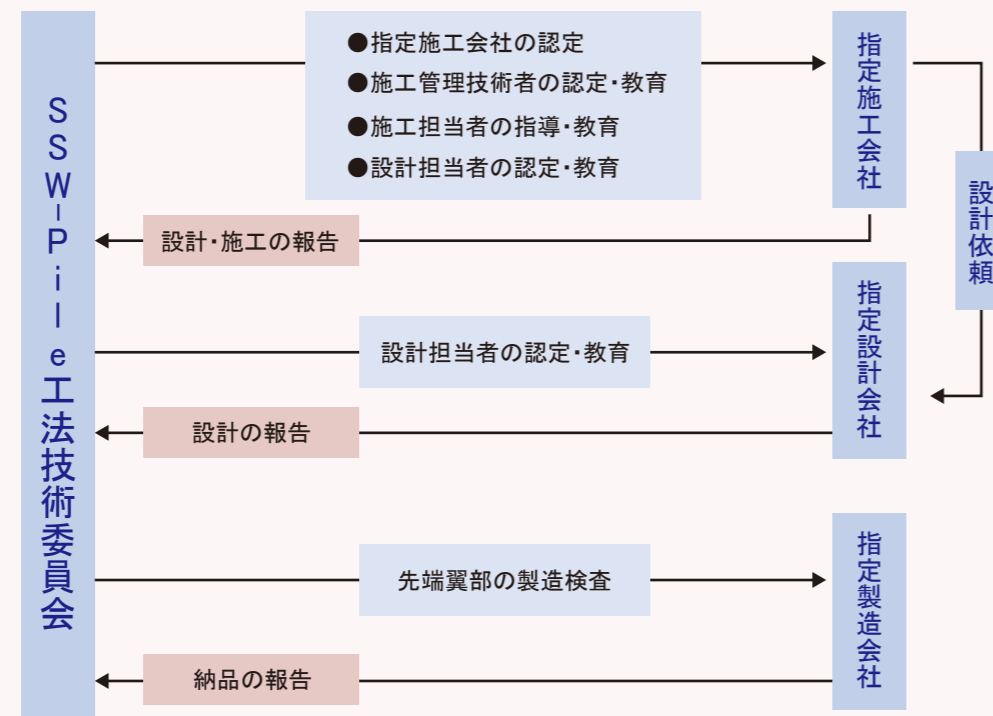
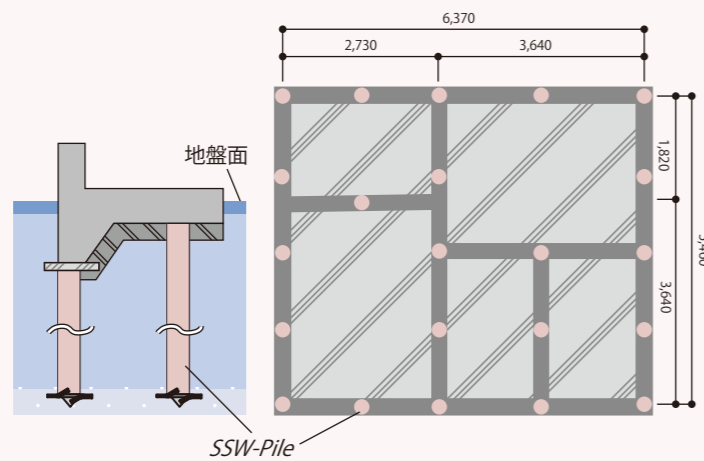


● 工法の管理体制図 ●



● 適用例 ●



先端翼を有する小口径柱状地盤補強

# SSW-Pile

Small-Size Wing-Pile (エスエスタブリューパイル)



独自に開発した先端翼が、  
安心のくらしをささえる

## SSW-Pile

Small-Size Wing-Pile (エスエスタブリューパイル)

SSW-Pile 工法協会

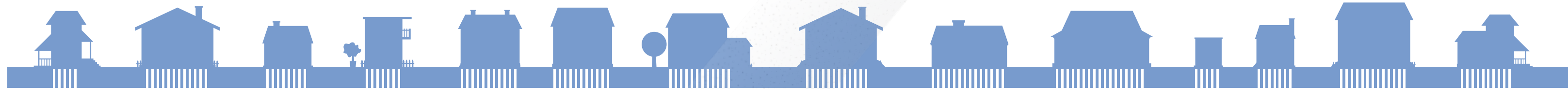
【事務局】株式会社 奈良重機工事

〒458-0023 愛知県名古屋市緑区鴻仏目1丁目115番地

TEL.052-877-8281 <http://www.ssw-pile.jp> MAIL [info@ssw-pile.jp](mailto:info@ssw-pile.jp)

ご注意とお願い

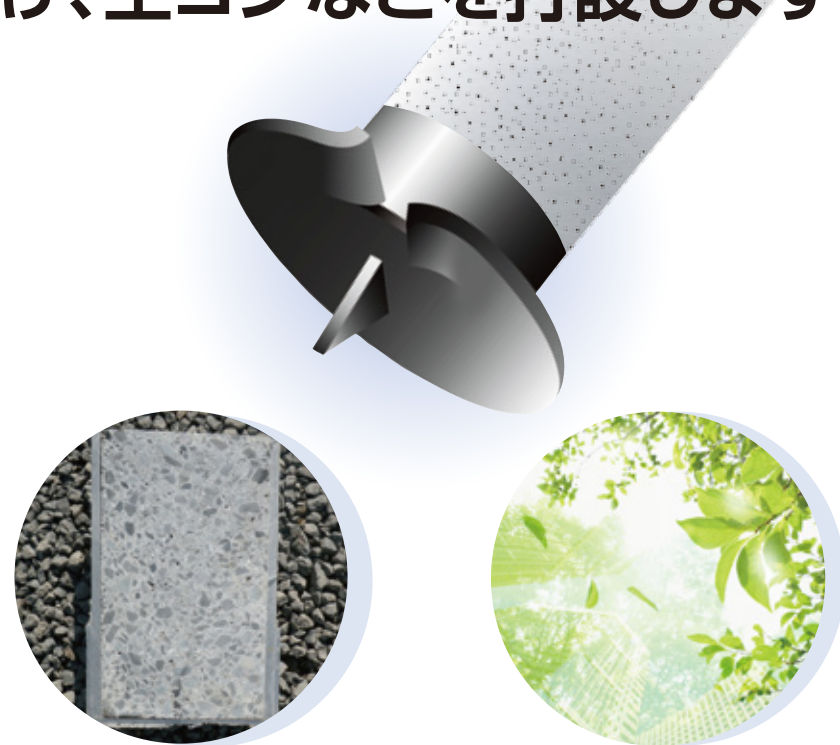
◆本資料に掲載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したものを除き保証を意味するものではありません。◆本資料に記載されている情報の誤った使用、または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。◆これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がございますので、最新の情報につきましては各担当部署にお問い合わせください。◆本資料に記載された内容の無断転載や複製はご遠慮ください。



# SSW-Pile工法は、直径216.3mmのケーシングの先端に独自に開発した先端翼を取り付け、生コンなどを打設します。



**証明された信頼性**  
日本建築総合試験所 (GBRC) の性能証明を取得。



## ローコスト・安定した品質

SSW-Pileに使用する軸部材は生コンなどを打設するため、ローコストで品質が安定しています。

## より環境へやさしく

残土排出はほとんどありません。施工による土圧は鋼管杭と同じ程度。まわりの建物への悪影響は少ないです。また、施工時に粉じんが舞うこともありません。もちろん、低騒音・低振動。

## ● 適応構造物 ●

下記の①～③の条件をすべて満たす建築物構造物、高さ3.5m以下の擁壁および浄化槽・広告塔等の小規模な工作物に適用する。

- ① 地上3階建て以下
- ② 高さ13m以下
- ③ 延べ面積1,500㎡以下 (平屋に限り、3,000㎡以下)

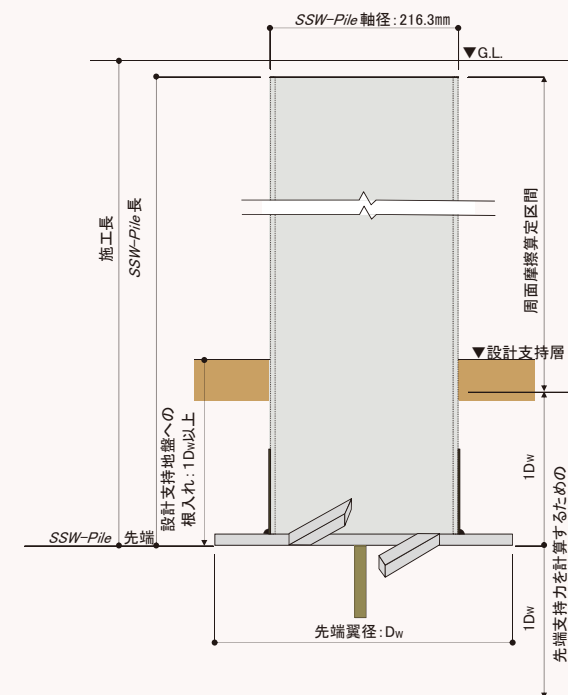
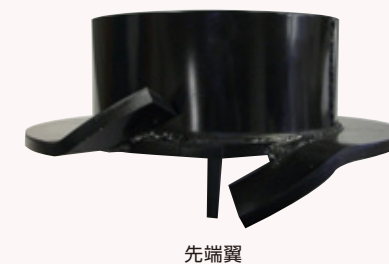
## ● 適応地盤 ●

砂質土、粘性土、ローム地盤。腐食土層や平均 $W_{sw}0.5$ 未満の土層、及び地震時に液状化する恐れのある地盤では周面摩擦力は期待しません。

## ● 仕様 ●

SSW-Pile 軸径:  $\phi 216.3\text{mm}$   
 先端翼径:  $\phi 350\text{mm}$ ,  $\phi 400\text{mm}$ ,  $\phi 450\text{mm}$   
 SSW-Pile 長: 15m以下 (最大施工深度: 施工地盤-15m)  
 最小芯間隔: 先端翼径の2.0倍  
 SSW-Pile 頭部の納まり: 基礎または捨てコンクリートまたは碎石下端  
 軸部材: 下記のいずれかとします。

- ① コンクリート
- ② モルタル



## 施工手順

- 1 ケーシングセット
- 2 ケーシング回転貫入
- 3 オーガ切離し
- 4 軸部材打設
- 5 オーガ接続
- 6 ケーシング引抜き⇒築造完了



1 ケーシングセット  
先端翼を取付けたケーシングを補強体芯にセットする。

2 ケーシング回転貫入  
ケーシングの鉛直性を確認後、ケーシングを回転・貫入させながら所定深度まで埋設する。

3 オーガ切離し  
オーガからケーシングを切り離す。

4 軸部材打設  
ケーシング内に軸部材を打設する。

5 オーガ接続  
オーガを再度ケーシングに接続する。

6 ケーシング引抜き⇒築造完了  
ケーシングを引抜き後、軸部材先端深度を確認・調整して完了する。

